

仮想アース Crystal E の導入(33)(HP 収載)

—映像系—

1. 始めに

今回は、映像系における仮想アースの効果を調べてみます。

2. 仮想アース試聴方法

現在の映像系のシステムは次のようになっています。

音声

DMR-UBZ1→Sonica DAC→DA-3000→Brooklyn DAC+→TruPhase

映像

DMR-UBZ1→TV (SHARP 亀山モデル) 【HDMI】

このようなシステムで仮想アースの効果はどうなるかということで、仮想アースの RCA 同軸接続ケーブルである光城精工の Clone2R (クローン 2R) 《KS-Z2200RY》を注文している途中に、Crystal Ep を TV とブルーレイプレイヤーに適用する事例について下記の記事がでていました。

<https://www.phileweb.com/review/article/202209/30/4903.html>

この記事によれば、映像関係でも Crystal Ep の効果が見られたということです。そこで遅ればせながら、映像を伴う音源について下記のような適用を行うことにしました。

DMR-UBZ1

出力は同軸デジタルにしていますので、同軸アナログ出力端子に Clone2R で Crystal E を接続します。

Sonica DAC

USB 入力と LAN 入力と同軸デジタル入力を使用しており、アナログ入力端子が空いていますので、ここに Clone2R で Crystal E を接続します。

また、アース端子がありますので、ここに Crystal E を接続します。

TV (SHARP 亀山モデル)

音声のアナログ出力端子は使用していませんので、ここに Clone2R で Crystal E を接続します。

なお、Crystal E は Brooklyn DAC+ から移動しますので、Brooklyn DAC+ には仮想アース Crystal E の導入(31)で製作した仮想アース 8 号機を接続します。



Clone2R アースケーブル

音源は、DMR-UBZ1 経由での BPODCH のストリーミング再生と録画再生および DVD 再生とし、音声と映像の変化を調べます。Sonica DAC への適用は音声の変化を調べ、TV への適用の場合は映像の変化を観察します。BPODCH は、キーシンとヤンソンス指揮のベルリンフィルのリストのピアノ協奏曲 1 番を、録画再生は 2021.3.15 放映の米元響子ヴァイオリンリサイタルを、DVD 再生は前報(30)で視聴した下記を再生しました。

EUROARTS IOO 039

Live Concert from the Church of St. Nicolei Leipzig

ヘルベルト・ブロクシュテット指揮ライブチツヒゲヴァントハウス他

ライブチツヒ St.Nicolei 教会収録 (Live)

3. 仮想アース試聴結果

DMR-UBZ1 での RCA 端子接続では、BPODCH のストリーミング再生、録画再生、DVD 再生で音質面と TV の画質面を観察します。この接続については、位置とスペースの関係から写真撮影は困難なので割愛します。

キーシンとヤンソンス指揮のベルリンフィルのリストのピアノ協奏曲 1 番は、オーケストラの音の分離が向上し、ピアノとオーケストラの音の切れ味がよくなり、ピアノの高音が澄んで、低音の響きもリアルです。

米元響子ヴァイオリンリサイタルは、ヴァイオリンもピアノも音の滲みが減り、ヴァイオリンの高域が澄んできます。

Live Concert from the Church of St. Nicolei Leipzig は、ヴィクトリア・ムローヴァが演奏するバッハのシャコンヌでは、ボウイングの微妙な様子が分かるようになり、教会内の残響音の明瞭さが増します。ライブチツヒゲヴァントハウスのベートーヴェンの運命では、各パートの音の分離が向上し、弦楽合奏の騒めきがリアルに捉えられます。

なお、これにおける TV の画質面は、TV が古い SHARP の亀山モデルであり、DMR-UBZ1 から TV への接続が付属品クラスの HDMI ケーブルであり、当方の目が悪いこともあってか、はっきりした変化は感じ取れませんでした。

Sonica DAC での RCA 端子接続では、BPODCH のストリーミング再生、録画再生、DVD 再生で音質の変化を観察します。



キーシンとヤンソンス指揮のベルリンフィルのリストのピアノ協奏曲 1 番は、若干音の分離が向上したという程度です。

米元響子ヴァイオリンリサイタルは、わずかにヴァイオリンとピアノの音の芯がしっかりしてきたかなという程度です。

Live Concert from the Church of St. Nicolai Leipzig は、ヴィクトリア・ムローヴァが演奏するバッハのシャコンヌでは、若干ヴァイオリンのニュアンスが分かりやすくなったかなという印象です。ライプチヒゲヴァントハウスのベートーヴェンの運命では、若干音の分離が向上したという程度です。

同様に、Sonica DAC でのアース端子接続では、BPODCH のストリーミング再生、録画再生、DVD 再生で音質面の変化を観察します。この接続に関しては位置とスペースの関係から写真撮影は困難なので割愛します。

キーシンとヤンソンス指揮のベルリンフィルのリストのピアノ協奏曲 1 番は、若干音の分離が向上した程度かなという感じです。

米元響子ヴァイオリンリサイタルは、心持ちヴァイオリンとピアノの音の芯がしっかりする程度かなという感じです。

Live Concert from the Church of St. Nicolai Leipzig は、ヴィクトリア・ムローヴァが演奏するバッハのシャコンヌもライプチヒゲヴァントハウスのベートーヴェンの運命も若干音の緻密さが増したかなという程度です。

以上、DMR-UBZ1 からデジタル信号を受ける Sonica DAC より、音源の再生の根源の DMR-UBZ1 での効果が大きいと言えます。

TV での接続では、BPODCH のストリーミング再生、録画再生、DVD 再生で TV の画質面を観察します。



TV への Crystal E の接続は、BPODCH のストリーミング再生、録画再生、DVD 再生のいずれにおいても、TV が古いもので、当方の目が悪いこともあって TV の画質面の変化は感じられませんでした。最近の 4K 対応 TV であれば、事情は変わってくるかもしれません。

以上から、Crystal E は元の Brooklyn DAC+に戻し、効果の大きかった DMR-UBZ1 での RCA 端子に仮想アース Crystal E の導入(31)で製作した仮想アース 8 号機を接続します。

この状態で、他のソースについて BPODCH のストリーミング再生と録画再生を行っていましたが、DMR-UBZ1 への仮想アースの効果が加わっていることが確認できました。

4. まとめ

以上、DMR-UBZ1 と Sonica DAC への Crystal E の接続は音質面の効果を認めましたが、画質面の効果は感じられませんでした。

Sonica DAC への Crystal E の接続は若干の音質面の効果を認めました。

TV への Crystal E の接続は画質の効果を感ずることはできませんでした。

以上